

3月1日(土) 13:00~18:50

映像が生み出すもの
——アマチュアとアーカイヴ、そして……

会場：神戸大学瀧川記念会館大会議室

第一部 13:00~14:40

セオリー：

映像、アマチュア、アーカイヴ

司会：佐藤守弘(京都精華大学)

*松谷容作(神戸大学大学院人文学研究科研究員)：

パテ・ベビー、静止と動きの間で——1920年代~40年代
の日本における映像と批評の関係についての一考察(仮)

*板倉史明(神戸大学)：

ホームムービーを映画学的に考察する(仮)

*前川修(神戸大学)：

写真、アマチュア、アーカイヴ

*ディスカッション

第二部 15:00~17:00

ケーススタディ：

アマチュアと映像をアーカイヴィングする

コーディネーター：原田健一(新潟大学)

*榎本千賀子(新潟大学)：

六日町の明治期アマチュア写真
——今成家写真の想像力と通俗道徳・都市文化

*原田健一(新潟大学)：

にいがた、花街と料亭一場所が媒介する人と映像

*松谷容作(神戸大学大学院人文学研究科研究員)：

映像と声のコミュニケーション
——^{もりくれない}森紅のパテ・ベビー作品を中心として

*山下俊介(京都大学総合博物館)：学術探検写真とアマチュア

第三部 17:20 ~ 18:00

ディスカッション：

アーカイヴをアーカイヴィングするために

司会：水島久光(東海大学)

登壇者：板倉史明、榎本千賀子、佐藤守弘、原田健一、前川修、
松谷容作、山下俊介

3月2日(日) 11:00~19:00

映像というモノと、地域をアーカイヴする

会場：神戸映画資料館

第一部 11:00 ~ 12:00

関連上映

「神戸映像アーカイブプロジェクト」(実施：神戸ドキュメンタリー映画祭実行委員会)による調査で新たに見つかった貴重なフィルムを上映する。(フィルム上映)

第二部 13:00~14:30

神戸映画資料館所蔵資料のアーカイヴィングの試みと成果

*板倉史明(神戸大学)：

本プロジェクトの成果報告と今後の課題

*大崎智史(神戸大学大学院人文学研究科博士課程前期)：

神戸映画資料館所蔵資料の整理と活用の可能性

*近藤和都(東京大学大学院学際情報学府修士課程)：

「映画館プログラム」のデジタルアーカイヴ化と研究活用の可能性(仮)

*松尾好洋・柴田幹太(株式会社IMAGICA ウェスト)：

簡易フィルム検査装置「手テレ」の開発

*北浦寛之(国際日本文化研究センター)：

興行からみた日本映画の黄金期から斜陽期(仮)

第三部 14:45~16:45

神戸、地域からみえるもの、そして映像がつなげるもの

コーディネーター：水島久光(東海大学)

上映予定作品：

濱口竜介監督による神戸人インタビュー 2

神戸映画資料館所蔵の9.5mm映像、ほか

登壇者：濱口竜介(映画作家)、松本篤(NPO法人記録と表現とメディアのための組織 [remo])

第四部 17:00~18:30

上映：映像作家・^{もりくれない}森紅の9.5mm作品

神戸大学地域連携事業「映像を媒介とした大学とアーカイブの地域連携」と、「神戸映像アーカイブプロジェクト」は、神戸映画資料館が収蔵する9.5mmフィルムの調査を共同で行っている。今回新たに「再発見」されデジタル化された伝説の映像作家・森紅の作品を厳選して上映する。(DV上映)